

平成29年度

島根大学大学院医学系研究科

看護学専攻（博士前期課程）入学者選抜

試験問題

小論文

（60分間）

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は表紙を含めて4枚です。
- 3 志望するコースの問題について解答してください。
- 4 問題紙は持ち帰ってください。

## 看護管理学コース

問題 次の表は、総合病院に勤務する看護職の自律性の下位尺度得点と属性及び内的特性得点との相関の結果を示したものです。自律性の各下位因子は、正確な状況認知を示す「認知能力」、的確な看護実践を導く具体的な行動を表す「実践能力」、具体的な手がかりを基に適切な看護を判断する「具体的判断能力」、看護のモデルや仮説に基づいて判断を行う「抽象的判断能力」、他者に依らず自主的に判断する「自立的判断能力」の側面を表しています。

以下の問1、問2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(「菊池昭江・原田唯司：看護専門職における自律性に関する研究，看護研究，30(4) 23-35, 1997」の表2を改編)

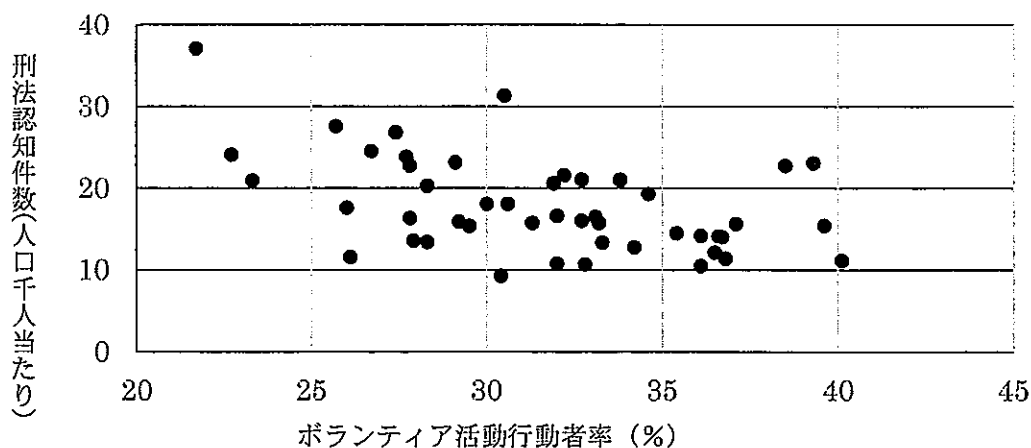
問1. 表から読み取れることを述べなさい。

問2. 表から読み取れる状況の背景を推論し、看護職が自律して専門的看護を実践していくためにはどうすればよいか、あなたの考えを述べなさい。

問題 次の文章を読んで、以下の問1、問2に答えなさい。

コミュニティにおいて、構成員が持っている相互の信頼感や互酬・互助意識、ネットワークへの積極的参加などが“ソーシャル・キャピタル”と呼ばれるものである。

ソーシャル・キャピタルが豊かな組織においては生産性が高く、国レベルの経済成長率も大きく、地域の犯罪率が低いことなどが報告されている。このソーシャル・キャピタルは、健康増進を導き、教育面での成果を上げ、犯罪発生率を低下させる可能性が指摘されている。



(注) 刑法認知件数とは、警察等によって刑法に違反する行為として認めた件数をいう。

図 ボランティア活動行動者率と犯罪発生率

(内閣府による「平成14年度 ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」より)

問1. 図から読み取れることを述べなさい。

問2. ソーシャル・キャピタルが健康に与える影響について、あなたの考えを述べなさい。

老人看護 CNS コース

問題 入院患者のせん妄について、以下の問1と問2に答えなさい。

問1. せん妄の発症要因について、①準備因子、②誘発・促進因子、③直接因子に分類して述べなさい。

問2. 身体疾患の治療のために急性期病院に入院している認知症高齢者のせん妄発症時における看護について述べなさい。